お肌の話
第81回

二の腕のブツブツが治らず気になっています

毛孔性苔癬かもしれません

立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com

思春期のころ、二の腕や太ももの皮膚に小さなブツブツとした丘疹がたくさんできることがあります。この毛孔性苔癬（もうこうせいたいせん）の症状や治療方法について、日本皮膚科学会認定皮膚科専門医で、立川皮膚科クリニック院長の伊東秀記先生に聞きました。

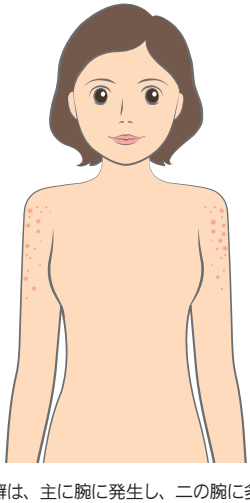
—どんな病気ですか？

「毛孔性苔癬は、皮膚のターンオーバーの乱れにより、古い角質が毛穴に詰まって角栓となり、皮膚の表面にザラザラとした皮疹の出る皮膚疾患です。10代の30～40％ほどに発生します。原因はわかっていませんが年を取るにつれ、自然によくなるケースも見られます。ニキビとまちがわれることもありますが、ニキビは皮脂が詰まってアクネ菌が炎症を起こしている状態なので、治療法が異なります」

—治療法は？

「そのままにしていても重篤な状態にはなりませんが、ザラツキが気になるようであれば皮膚科を受診しましょう。治療にはサルチル酸ワセリンや、尿素入りの軟膏を処方します。乾燥すると悪化することもあるので、こまめに保湿しましょう。まずは医師と相談してください」

毛孔性苔癬の症状



毛孔性苔癬は、主に腕に発生し、二の腕に多く見られます。太ももなどにも発生することもあります

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、東京慈恵会医科大学医学部卒業

問い合わせ
☎042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分

休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30～13:30	○	○	○	○	12:30まで受け付け	○
15:00～19:30	○	○	○	○	18:30まで受け付け	17:30まで受け付け

2018年9月15日付　「リビング多摩 」に掲載されました